



障害者支援施設
下関幸陽園
施設案内

社会福祉法人
慈恵会

施設の目的

常時介護を必要とされる重度の障害者の方で、
自宅において十分な介護を受けることが
困難な方の生活の場として、
健康保持・残存機能の減退防止を目標に、
医学的管理のもと介護を行っています。
また、多様な創作活動と共に四季折々の行事や
お食事で余暇活動の充実を図っています。

施設の運営方針

利用者の基本的人権を尊重し、
常に利用者の立場に立った障害福祉サービスを提供し、
明るく・楽しく・生き甲斐のある生活を過ごせる
施設づくりに努めます。

施設 沿革

1984年1月:社会福祉法人 慈恵会
設立認可

1985年4月:施設事業開始

1992年3月:南館工事完成

1996年3月:地域交流ホーム完成

1999年3月:デイサービスセンター完成

2010年3月:創作活動棟完成

2010年4月:障害者支援施設へ移行



事業内容と定員

生活介護事業(通所含む) … 90名

入所や通所される利用者に対して、(主に昼間)入浴・排泄及び食事の介護の他、創作的活動の機会の提供や身体的機能・生活能向上のための日常動作訓練・機能回復訓練等のサービスの提供を行います。

施設入所支援事業 … 80名

施設に入所されている利用者に対して(主に夜間)入浴・排泄及び食事の介護等、必要なサービスの提供を行います。

短期入所事業(ショートステイ) … 4名

ご家族の方が外出、旅行、病気等で在宅の障害者のお世話が困難な場合、短期間施設に入所して介護サービスを受ける事が出来る制度です。(宿泊)

日中ショートステイ事業 … 2名

ご家族の方が外出、旅行、病気等で在宅の障害者のお世話が困難な場合、日中の時間帯、一時的に介護サービスを受ける事が出来る制度です。(日帰り)

利用方法

利用をご希望される方は、各市町の障害者支援課へご相談ください。

利用対象者

市町発行の[障害福祉サービス受給者証]をお持ちで、利用事業の支給決定を受けておられる方。

利用料負担

障害者福祉サービス受給者証に記載された金額と食費・光熱費をご負担いただきます。

※別途軽減措置があります。

職員構成

区分	園長	副園長	管理部長	事務員	サービス管理責任者	PT	医師	看護師	栄養士	介護士	介助員	調理員	合計
人員	1	1	1	2	2 (兼務)	2	1	4	1	40	6	9	68

居室

ご自身の住みやすいようにお気に入りの家具や机などアレンジしてお使いください。
カーテンがあり、相部屋の方とのプライバシーは守られています。
洋室と和室がございます。

洋 室

1人部屋：2室
2人部屋：17室
4人部屋：10室



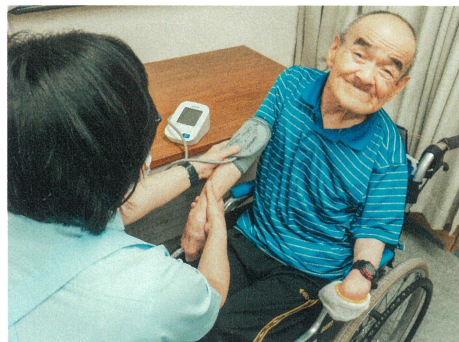
和 室

4人部屋：2室



医 務

看護師は、日中、常駐し、服薬管理をはじめとした医療的ケアを行います。
医師が来園し、看護師と共に病気の予防及び回診を行います。
又、利用者の健康管理、保健衛生の指導等についても常に気を配っています。



厨房

栄養士によるカロリー計算のもと、
衛生的でバランスのとれたメニューを提案しています。
嚥下食・きざみ食・ミキサー食・ソフト食など
利用者の食べる力に合わせた食事をつくっています。



機能訓練

理学療法士による残存機能の減退防止と機能回復訓練が
受けられます。車椅子、義肢装具等の製作・相談についても
専門スタッフが承ります。



入浴

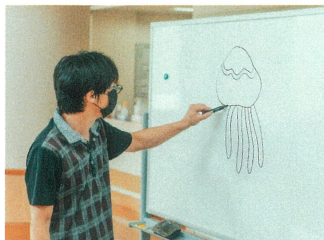
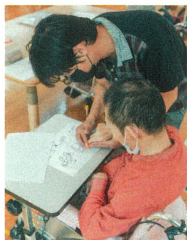
入浴前に必ず看護師と介護士が利用者の体調を確認。
普通浴槽と機械浴槽をご利用いただけます。



創作活動

日々の生活の中で達成感や喜びを感じられるよう、入所中の利用者、通所利用者を対象に創作活動を積極的に実施しています。絵画・書道・陶芸は毎週、講師を外部から招き、利用者の創造力を伸ばすお手伝いをお願いしています。

絵画



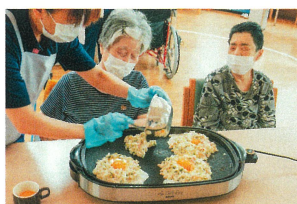
陶芸



書道



余暇活動として、調理クラブ、紙芝居、手芸、オセロゲーム、映画鑑賞、カラオケ、スポーツレクなどを
行っています。(自由参加)



創作活動で制作した作品は、毎年、
県主催の芸術文化祭に出品しています。
県庁にて作品展示が行われます。



おたより

保護者の皆様に年に数回、施設の活動、
利用者の様子をお知らせする広報誌、
[幸陽園だより]をお送りしています。



